

科目区分	専門基礎分野	授業科目	人体形態機能学Ⅳ (脳神経・運動器)
講師名	中留 真人	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ	今後学ぶ他の科目の理解や将来の実務に必要な基礎知識を学びます。丸暗記に終始するのではなく、正しく理解して活用できる知識を身につけてください。そのため、予習・復習をしっかり行い、知識の習得に努めましょう。		
目的：看護実践に必要な人体の構造と機能を学ぶ。 目標： 1. 生命維持および人体の機能をつかさどる脳の機能と神経の機能について理解する。 2. からだを支える骨格の構造とその機能を理解する。 3. からだを動かす仕組みがわかる。			
回	授 業 内 容		
1	1. 脳神経	1) 神経系の構造と機能 2) 脊髄の構造と機能	
2		3) 脳の構造と機能 4) 脊髄神経の構造と機能	
3		5) 脳神経の構造と機能 6) 脳波と睡眠	
4		7) 記憶 8) 本能行動と情動行動	
5		9) 内臓調節機能	
6		10) 運動機能と下行ニューロン	
7	2. 運動器	1) 人体の骨格 2) 骨の組織と構造	
8		3) 骨の成長 4) 骨の生理的な機能	
9		5) 関節と骨格筋の構造と機能、可動性 6) 姿勢 立位の保持	
10		7) 骨格筋の構造と作用、神経支配	
11		8) 体幹の骨格と筋	
12		9) 上肢の骨格と筋 10) つまむ	
13		11) 下肢の運動 12) 歩く	
14		13) 頭頸部の骨格と筋 14) 表情	
15 (45分)		15) 筋の収縮 (神経から筋への指令と筋の収縮)	
16 (45分)	終了試験		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験 100点満点 評価基準参照		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学		
参考図書	医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7]脳・神経 医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10]運動器 日本看護協会出版会：看護 形態機能学 医学書院：目で見るからだのメカニズム		
備考	特記なし		

